

化学療法開始前に必要な検査を提案した例

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は、化学療法開始前に必要な検査を確認し、検査の追加を提案することで、安全な薬物療法の提供に貢献できたプレアボイドを紹介いたします。

患者背景

▶膀胱癌に対し化学療法目的で入院された患者

【新規開始予定の化学療法】

dd-MVAC 療法

（メトトレキサート、ビンブラスチン、ドキソルビシン、シスプラチン）

F さん



F さんにドキソルビシンを含むレジメンが予定されているが、心機能の検査がされていなさそうだ。



薬剤師

ドキソルビシンを含むアントラサイクリン系抗がん剤は、投与前に心機能検査が推奨されております*。
F さんは心機能検査がされていないようですので、投与前に心機能検査はいかがでしょうか。

そうですね。心エコー検査を追加して、心機能を確認してから投与することにします。



医師

検査追加ありがとうございます。
投与後も頻回に心機能検査が推奨されております。ご検討をお願いします。



薬剤師

心エコー検査の結果、心機能に異常がないことが確認され、予定通り化学療法が開始された。

化学療法開始前に必要な検査について確認し、情報提供することで安全な化学療法施行に貢献できた。

*ドキソルビシン添付文書、抗がん剤治療関連心筋障害の診療における心エコー図検査の手引簡易版（一般社団法人日本心エコー図学会）を参考